

2025年3月27日  
神戸学院大学 全学教育推進機構長 作成

大学全体レベルにおける2023年度卒業生の「カリキュラム・アセスメント」について  
(最終報告) <公開用抜粋版>

標記のことについて、かねてから公表している「アセスメント・プラン（教育アセスメントの考え方）」に則って、大学全体レベルのカリキュラム・アセスメントを実施しましたので、以下のとおりご報告いたします。

アセスメントの対象

2023年度卒業生（2020年度（薬学部は2018年度）入学生を主として）

アセスメントの方法

『アセスメント・プラン（教育アセスメントの考え方）』の大学全体レベルに則って  
(<https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/policy/assessment.html>)

ただし、「全学実施の外部アセスメントテスト」については、2023年度より本格運用のため、本年度の指標には含んでいない。

【入学時】

1. 新入生アンケート一部設問

<学内資料につき本文割愛>

2. 新入生基礎学力診断（英語）

<学内資料につき本文割愛>

### 【在学時】

・在学生の学修行動調査（2～4年次生（薬学部は6年次生）対象）

- 2020～2023年度にかけて毎年実施してはいたが、2020年度よりコロナ禍に見舞われ、主として遠隔授業での開講が多くなったことによる影響は否めない。そのため、経年変化の評価については慎重にならざるを得ない。2020年度では92.5%、2021年度では86.8%、2022年度では84.7%、2023年度では74.1%の回答者が週に1時間以上の予習・復習などの自主学習をしていると回答している（質問1）。学生の自己評価では、年次が上がるにつれて学習量が低下することを示唆している。このことは2019年度入学生と変わらない。
- 全学 DP に対応する各質問（能力の向上実感）については、おおむねの質問において、年度を重ねるにつれ、「非常にそう思う」、「ややそう思う」を合わせた肯定回答の割合が増加しているため、一定の教育成果があったと評価したい（質問2～8）。
- 大学入学時と比べた学習意欲の変化について、年度を重ねるにつれ、「非常に向上したと感ずる」、「やや向上したと感ずる」を合わせた肯定回答の割合が増加しているため、一定の教育成果があったと評価したい（質問9）。
- 大学生生活を振り返っての総合的な満足度について、2023年度では、「大変満足している」、「おおむね満足している」を合わせた肯定回答の割合が増加している（質問10）。

### 【卒業時（卒業後）】

・卒業時の学修行動調査

- 在学生の学修行動調査と同一の質問（質問1～9）の何れも、卒業時が最も肯定回答の割合が多くなっているため、一定の教育成果があったと評価したい。
- 進路に対する満足度について、2022年度卒業生は「大変満足している」（36.4%）、「おおむね満足している」（40.9%）との回答を合わせて77.3%であった（質問10）。2021年度卒業生は「大変満足している」（35.1%）、「おおむね満足している」（40.2%）で75.3%、2022年度卒業生は「大変満足している」（38.8%）、「おおむね満足している」（44.8%）で83.6%であり、昨年度改善がみられた値が一昨年度並みに戻ったことから、引き続き改善が必要である。

・就職・進学状況

- 2023年度卒業生の就職率は96.7%であった（把握率は98.8%）。
- 文部科学省が把握・公表している同年度の大学等卒業予定者の就職率は98.1%（私立大学は97.9%）であり、本学はこれをやや下回ったが、本学卒業生の学修成果が概ね社会にも評価されているものと解したい。

参考：文部科学省『令和5年度大学等卒業予定者の就職状況調査（4月1日現在）』

（[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa01/naitei/kekka/k\\_detail/mext\\_](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/naitei/kekka/k_detail/mext_)

・卒業後アンケート

問5「大学時代の授業（実習・演習を含む）は、全体として、現在どの程度役に立っていると思いますか。」

- 「とても役立っている」20.3%、「ある程度役立っている」51.8%で、合わせて72.1%が肯定回答である。2022年度卒業生においては「とても役立っている」（11.1%）、「ある程度役立っている」（61.9%）で73.0%が肯定回答であったため、概ね変化はないが、「とても役立っている」との強い肯定回答の割合が多くなったことは評価できる。

問6「大学時代に講義や実習・演習などの授業で学んだことや、授業以外での経験は、それぞれ現在どの程度役に立っていると思いますか。」

- 授業に関することで「とても役立っている」、「ある程度役に立っている」を合わせた肯定回答が60%を超えたのは、「演習・ゼミナール・卒業研究」（76.1%）、「専門教育科目全般」（74.6%）、「情報処理系の科目」（74.1%）、「文章表現系の科目」（64.0%）であった。リテラシー教育に加えて、本学の学士課程教育の構成から、比較的实践的な専門教育科目が多いことによるものと解釈している。
- 一方で、2022年度は肯定回答が60%を超えていた「共通教育科目全般」が59.9%に留まったことには今後注視が必要であろう（2022年度は64.6%）。
- 「外国語の科目」の肯定回答は39.6%に留まっている。過去年度同様、回答者の多くが外国語を用いる環境に置かれていないことの現れであると解釈できるが、今後の回答傾向に注視が必要な項目であろう。

<総評>

全学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）（以下、DP）の要素毎に、以下のとおり報告する。

DP1：（知識・技能）共通教育等を通じて、広い教養を身につけ、豊かな人間性や社会性を涵養している。

- 本学学生及び卒業生による学修行動調査やアンケート（学生の自己評価）回答結果においては、主にリテラシー科目を通じて概ね達成されている。客観的指標による詳細は、教育課程レベル（共通教育センター）のカリキュラム・アセスメントに委ねる。

DP2：（知識・技能）専門分野に高い関心を持ち、専門領域の課題を考察し、解決するための知識や技能を身につけている。

- 本学学生及び卒業生による学修行動調査やアンケート（学生の自己評価）回答結果においては、主に演習・ゼミナール・卒業研究を通じて概ね達成されている。客観的指標による詳細は、教育課程レベル（学部学科等）のカリキュラム・アセスメントに委ねる。

DP3：（思考力・判断力・表現力等の能力）幅広い知識を活用してさまざまな問題を発見し、それを解決する方策を導くことができる。

- 本学学生及び卒業生による学修行動調査やアンケート（学生の自己評価）回答結果においては、主に共通教育のリテラシー科目及び専門教育の演習・ゼミナール・卒業研究を通じて概ね達成されている。客観的指標による詳細は、教育課程レベル（学部学科等）のカリキュラム・アセスメントに委ねる。

DP4：（思考力・判断力・表現力等の能力）自分の意見を口頭や文書によって表現し、相手の意見を理解することで、良好なコミュニケーションをとることができる。

- 本学学生及び卒業生による学修行動調査やアンケート（学生の自己評価）回答結果においては、主にリテラシー科目を通じて概ね達成されている。客観的指標による詳細は、教育課程レベル（共通教育センター）のカリキュラム・アセスメントに委ねる。

DP5：（主体性を持って多様な人々と共同して学ぶ態度）獲得した知識や技能を活用し、国内外において、価値観や意見の異なるさまざまな人と議論し、学びを深め、協働して、社会に役立てることができる。

- 「全学実施の外部アセスメントテスト」は、2023年度より本格運用のため、現在は詳細の測定は困難であるが、就職状況から、社会には、本学卒業生が「主体性を持って多様な人々と共同」できると評価されているものと解したい。

以上

# 2023 年度卒業生が在学中に回答した学修行動調査の集計結果 (2020～2023 年度)

2025 年 2 月 14 日 教学 IR 室作成

## 基礎集計表 (回答者数)

	実施年度				総計
	2020	2021	2022	2023	
	120	1,074	455	821	1,527

※ただし質問によって未回答があるため、すべての質問で回答者数が完全一致はしていない。

質問 1. 学修時間についてお伺いします。

日本の大学は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。(例えば 2 単位の授業科目であれば、予習・復習も含めて 90 時間の学修が必要ということです。)

昨年度は、授業時間以外で、1 週あたりにどれくらい予習・復習などの自主学習をしましたか。以下の選択肢から一つお選びください。

質問 1		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
10時間以上	回答者数	13	78	21	57	139
	割合	10.8%	7.3%	4.6%	6.9%	9.1%
7～10時間未満	回答者数	17	82	36	32	158
	割合	14.2%	7.6%	7.9%	3.9%	10.3%
5～7時間未満	回答者数	23	113	43	51	213
	割合	19.2%	10.5%	9.5%	6.2%	13.9%
4～5時間未満	回答者数	16	97	44	60	203
	割合	13.3%	9.0%	9.7%	7.3%	13.3%
3～4時間未満	回答者数	9	173	73	95	324
	割合	7.5%	16.1%	16.0%	11.6%	21.2%
2～3時間未満	回答者数	18	174	90	118	360
	割合	15.0%	16.2%	19.8%	14.4%	23.6%
1～2時間未満	回答者数	15	215	78	185	445
	割合	12.5%	20.0%	17.1%	22.5%	29.1%
1時間未満	回答者数	5	109	48	138	269
	割合	4.2%	10.1%	10.5%	16.8%	17.6%
授業に関する学習はしていない	回答者数	4	33	22	85	127
	割合	3.3%	3.1%	4.8%	10.4%	8.3%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問2. あなたは、大学入学時と比べて、共通教育等を通じて、教養が身につきましたか。以下の選択肢から一つお選びください。

質問2		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
非常にそう思う	回答者数	13	78	71	162	267
	割合	10.8%	7.3%	15.6%	19.7%	17.5%
ややそう思う	回答者数	77	506	249	395	913
	割合	64.2%	47.1%	54.7%	48.1%	59.8%
どちらともいえない	回答者数	24	336	104		422
	割合	20.0%	31.3%	22.9%		27.6%
あまりそう思わない	回答者数	6	128	26	69	208
	割合	5.0%	11.9%	5.7%	8.4%	13.6%
まったくそう思わない	回答者数		26	5	29	57
	割合		2.4%	1.1%	3.5%	3.7%
どちらとも言えない	回答者数				166	166
	割合				20.2%	10.9%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問3. あなたは、大学入学時と比べて、人間性や社会性が豊かになりましたか。以下の選択肢から一つお選びください。

質問3 (グループ)		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
非常にそう思う	回答者数	14	101	99	245	374
	割合	11.7%	9.4%	21.8%	29.8%	24.5%
ややそう思う	回答者数	64	452	202	372	833
	割合	53.3%	42.1%	44.4%	45.3%	54.6%
どちらともいえない	回答者数	38	332	98	119	518
	割合	31.7%	30.9%	21.5%	14.5%	33.9%
あまりそう思わない	回答者数	3	137	38	51	207
	割合	2.5%	12.8%	8.4%	6.2%	13.6%
まったくそう思わない	回答者数	1	52	18	34	95
	割合	0.8%	4.8%	4.0%	4.1%	6.2%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問4. あなたは、大学入学時と比べて、専門分野への関心が高まりましたか。以下の選択肢から一つお選びください。

質問4 (グループ)		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
非常にそう思う	回答者数	32	212	138	283	501
	割合	26.7%	19.7%	30.3%	34.5%	32.8%
ややそう思う	回答者数	77	534	203	340	878
	割合	64.2%	49.7%	44.6%	41.4%	57.5%
どちらともいえない	回答者数	8	217	77	128	380
	割合	6.7%	20.2%	16.9%	15.6%	24.9%
あまりそう思わない	回答者数	2	75	30	45	140
	割合	1.7%	7.0%	6.6%	5.5%	9.2%
まったくそう思わない	回答者数	1	36	7	25	63
	割合	0.8%	3.4%	1.5%	3.0%	4.1%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問5. あなたは、大学入学時と比べて、さまざまな問題を発見し、それを解決する方策を導く力が伸びたと感じますか。以下の選択肢から一つお選びください。

質問5 (グループ)		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
非常にそう思う	回答者数	12	76	72	183	288
	割合	10.0%	7.1%	15.8%	22.3%	18.9%
ややそう思う	回答者数	66	434	218	380	848
	割合	55.0%	40.4%	47.9%	46.3%	55.5%
どちらともいえない	回答者数	34	390	124	181	615
	割合	28.3%	36.3%	27.3%	22.0%	40.3%
あまりそう思わない	回答者数	8	143	32	52	215
	割合	6.7%	13.3%	7.0%	6.3%	14.1%
まったくそう思わない	回答者数		31	9	25	63
	割合		2.9%	2.0%	3.0%	4.1%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問6. あなたは、大学入学時と比べて、自分の意見を口頭や文書によって表現する力が伸びたと感じますか。選択肢から一つお選びください。

質問6 (グループ)		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
非常にそう思う	回答者数	13	117	92	213	359
	割合	10.8%	10.9%	20.2%	25.9%	23.5%
ややそう思う	回答者数	50	452	196	356	816
	割合	41.7%	42.1%	43.1%	43.4%	53.4%
どちらともいえない	回答者数	43	321	116	173	551
	割合	35.8%	29.9%	25.5%	21.1%	36.1%
あまりそう思わない	回答者数	12	145	45	54	231
	割合	10.0%	13.5%	9.9%	6.6%	15.1%
まったくそう思わない	回答者数	2	39	6	25	67
	割合	1.7%	3.6%	1.3%	3.0%	4.4%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問7. あなたは、大学入学時と比べて、相手の価値観や意見を理解する力が伸びたと感じますか。以下の選択肢から一つお選びください。

質問7 (グループ)		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
非常にそう思う	回答者数	24	142	114	268	434
	割合	20.0%	13.2%	25.1%	32.6%	28.4%
ややそう思う	回答者数	66	498	214	372	886
	割合	55.0%	46.4%	47.0%	45.3%	58.0%
どちらともいえない	回答者数	26	314	105	125	489
	割合	21.7%	29.2%	23.1%	15.2%	32.0%
あまりそう思わない	回答者数	4	94	18	37	143
	割合	3.3%	8.8%	4.0%	4.5%	9.4%
まったくそう思わない	回答者数		26	4	19	48
	割合		2.4%	0.9%	2.3%	3.1%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



質問8. あなたは、大学入学時と比べて、良好なコミュニケーションをとる力が伸びたと感じますか。以下の選択肢から一つお選びください。

質問8 (グループ)		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
非常にそう思う	回答者数	17	108	85	240	377
	割合	14.2%	10.1%	18.7%	29.2%	24.7%
ややそう思う	回答者数	61	402	165	312	763
	割合	50.8%	37.4%	36.3%	38.0%	50.0%
どちらともいえない	回答者数	30	327	135	179	567
	割合	25.0%	30.4%	29.7%	21.8%	37.1%
あまりそう思わない	回答者数	9	179	52	57	264
	割合	7.5%	16.7%	11.4%	6.9%	17.3%
まったくそう思わない	回答者数	3	58	18	33	104
	割合	2.5%	5.4%	4.0%	4.0%	6.8%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問9. あなたは、大学での学びを通じて、大学入学時と比べて、学習意欲がどのように変化したと感じますか。以下の選択肢から一つお選びください。

質問9 (グループ)		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
非常に向上したと感じる	回答者数	20	95	66	162	286
	割合	16.7%	8.8%	14.5%	19.7%	18.7%
やや向上したと感じる	回答者数	58	380	193	360	762
	割合	48.3%	35.4%	42.4%	43.8%	49.9%
どちらともいえない	回答者数	29	373	134	187	601
	割合	24.2%	34.7%	29.5%	22.8%	39.4%
あまり向上していないと感じる	回答者数	10	170	47	72	268
	割合	8.3%	15.8%	10.3%	8.8%	17.6%
ほとんど向上していないと感じる	回答者数	3	56	15	40	103
	割合	2.5%	5.2%	3.3%	4.9%	6.7%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問10. あなたのこれまでの大学生活を振り返っての総合的な満足度を教えてください。以下の選択肢から一つお選びください。

質問10 (グループ)		実施年度				総計
		2020	2021	2022	2023	
大変満足している	回答者数	7	42	47	141	203
	割合	5.8%	3.9%	10.3%	17.2%	13.3%
おおむね満足している	回答者数	65	352	202	335	725
	割合	54.2%	32.8%	44.4%	40.8%	47.5%
どちらともいえない	回答者数	41	385	140	221	653
	割合	34.2%	35.8%	30.8%	26.9%	42.8%
やや不満である	回答者数	4	231	49	84	330
	割合	3.3%	21.5%	10.8%	10.2%	21.6%
大いに不満である	回答者数	3	64	17	40	116
	割合	2.5%	6.0%	3.7%	4.9%	7.6%
総計	回答者数	120	1,074	455	821	1,527
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

# 2023 年度神戸学院大学卒業生の学修行動に 関する調査集計結果報告書

2024年4月

## 1. 調査の概要

①実施時期： 前期学部卒業者 2023年9月11日～9月30日

3月学部卒業者 2024年3月14日～3月31日

②対象： 神戸学院大学 2023年度学部卒業生 2,345名

③調査方法：

主として、学内情報サービス「アンケート」機能を用いてのWEB調査による

④有効回答数・回答率：1,280人（54.6%）

## 2. 調査集計結果

質問1. あなたは、大学入学時と比べて、共通教育等を通じて、教養が身につきましたか。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
非常にそう思う	395	30.9%
ややそう思う	652	50.9%
どちらともいえない	157	12.3%
あまりそう思わない	51	4.0%
まったくそう思わない	25	2.0%
総計	1,280	100.0%

質問2. あなたは、大学入学時と比べて、人間性や社会性が豊かになりましたか。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
非常にそう思う	554	43.3%
ややそう思う	513	40.1%
どちらともいえない	143	11.2%
あまりそう思わない	50	3.9%
まったくそう思わない	20	1.6%
総計	1,280	100.0%

質問3. あなたは、大学入学時と比べて、専門分野への関心が高まりましたか。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
非常にそう思う	534	41.7%
ややそう思う	545	42.6%
どちらともいえない	140	10.9%
あまりそう思わない	44	3.4%
まったくそう思わない	17	1.3%
総計	1,280	100.0%

質問4. あなたは、大学入学時と比べて、さまざまな問題を発見し、それを解決する方策を導く力が成長したと感じますか。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
非常にそう思う	397	31.0%
ややそう思う	623	48.7%
どちらともいえない	191	14.9%
あまりそう思わない	57	4.5%
まったくそう思わない	12	0.9%
総計	1,280	100.0%

質問5. あなたは、大学入学時と比べて、自分の意見を口頭や文書によって表現する力が成長したと感じますか。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
非常にそう思う	438	34.2%
ややそう思う	571	44.6%
どちらともいえない	188	14.7%
あまりそう思わない	69	5.4%
まったくそう思わない	14	1.1%
総計	1,280	100.0%

質問6. あなたは、大学入学時と比べて、相手の価値観や意見を理解する力が成長したと感じますか。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
非常にそう思う	519	40.5%
ややそう思う	579	45.2%
どちらともいえない	138	10.8%
あまりそう思わない	32	2.5%
まったくそう思わない	12	0.9%
総計	1,280	100.0%

質問7. あなたは、大学入学時と比べて、良好なコミュニケーションをとる力が成長したと感じますか。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
非常にそう思う	437	34.1%
ややそう思う	534	41.7%
どちらともいえない	204	15.9%
あまりそう思わない	71	5.5%
まったくそう思わない	34	2.7%
総計	1,280	100.0%

質問8. あなたは、大学での学びを通じて、大学入学時と比べて、学習意欲がどのように変化したと感じますか。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
非常に向上したと感じる	352	27.5%
やや向上したと感じる	578	45.2%
どちらともいえない	233	18.2%
あまり向上していないと感じる	82	6.4%
ほとんど向上していないと感じる	35	2.7%
総計	1,280	100.0%

質問9. あなたのこれまでの大学生活を振り返っての総合的な満足度を教えてください。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
大変満足している	357	27.9%
おおむね満足している	588	45.9%
どちらともいえない	224	17.5%
やや不満である	84	6.6%
大いに不満である	27	2.1%
総計	1,280	100.0%

質問10. あなたの卒業後の進路に対する満足度を教えてください。以下の中から該当するものを一つだけ選択してください。

回答（選択肢）	回答数	割合
大変満足している	466	36.4%
おおむね満足している	524	40.9%
どちらともいえない	235	18.4%
やや不満である	43	3.4%
大いに不満である	12	0.9%
総計	1,280	100.0%

# 神戸学院大学 卒業後アンケート 集計結果報告書

2025年3月

卒業1年目調査抜粋版

## 1. 調査の実施内容

- ①実施時期：2024年12月13日から2025年1月31日
- ②対象：2023年9月～2024年3月卒業生 2,298名（留学生等47名を除く）  
2021年9月～2022年3月卒業生 2,435名（留学生等31名を除く）
- ③調査方法：Microsoft Formsを用いてのWEB調査による
- ④有効回答数・回答率：2023年9月～2024年3月卒業生 197名（回収率：8.6%）  
2021年9月～2022年3月卒業生 152名（回収率：6.2%）

## 2. 調査結果の概略

ご協力いただいた卒業生のみなさまに御礼申し上げます。

次に、卒業後1年目と3年目の両群の回答について、特徴的なくつかの質問を取り上げまとめています。

### 【卒業後1年目と3年目の両卒業生群で回答傾向が同一であること】

- 質問8. 在学中にもっと高めておけばよかったと思う力等について、両卒業生群ともに最多の回答は「パソコンを使う力」であること。
- 質問13. 大学生生活の充実度について、両卒業生群ともに「とても充実していた」、「ある程度充実していた」を合成して90%弱から肯定的な回答が得られたこと。
- 質問15. 卒業後の生活の充実度について、両卒業生群ともに「とても充実している」、「ある程度充実している」を合成して90%以上から肯定的な回答が得られたこと。

### 【卒業後1年目と3年目の両卒業生群で回答傾向が異なること】

- 質問8. 在学中にもっと高めておけばよかったと思う力等について、卒業後1年目の卒業生群における2番目に多い回答は「英語等の語学力」であるのに対して、卒業後3年目の卒業生群における2番目に多い回答は「一般的な教養」であること（質問17. 現在の勤務先の業種について、両卒業生群における回答者属性の大きな違いは見受けられない）。

上の質問8. 在学中にもっと高めておけばよかったと思う力等における2番目に多い回答については、両卒業生群で異なる回答傾向があるにも関わらず、質問7. 後輩に対して大学時代に経験しておくようにすすめたいことについて、両群とも多くの回答が集まっているのは「専門教育科目全般」であることに、大学として十分に着目しておくべきであろうと考えます。

この度の調査結果を参考に、本学のさらなる改革を推進し、学生にとってより良い学びを提供できるよう検討してまいりますので、今後とも神戸学院大学へのご支援・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 3. 調査集計結果【2023年9月～2024年3月卒業生（卒業後1年目調査）】

質問2. 卒業された学部・学科（専攻・コース）はどちらですか。

法学部	32
経済学部	17
経営学部	20
人文学部	31
心理学部	20
現代社会学部 現代社会学科	7
現代社会学部 社会防災学科	13
グローバル・コミュニケーション学部 英語コース	9
グローバル・コミュニケーション学部 中国語コース	3
総合リハビリテーション学部 理学療法学科	2
総合リハビリテーション学部 作業療法学科	1
総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科	5
栄養学部 管理栄養学専攻	4
栄養学部 臨床検査学専攻（生命栄養学専攻含む）	6
薬学部	27
総計	197

質問3. 【法・経済・経営・人文学部・現代社会学部の卒業生の方のみお答えください】  
スポーツサイエンス・ユニット（スポーツマネジメントユニット）に所属していましたか。

所属していた	2
所属していなかった	136
未回答	59
総計	197

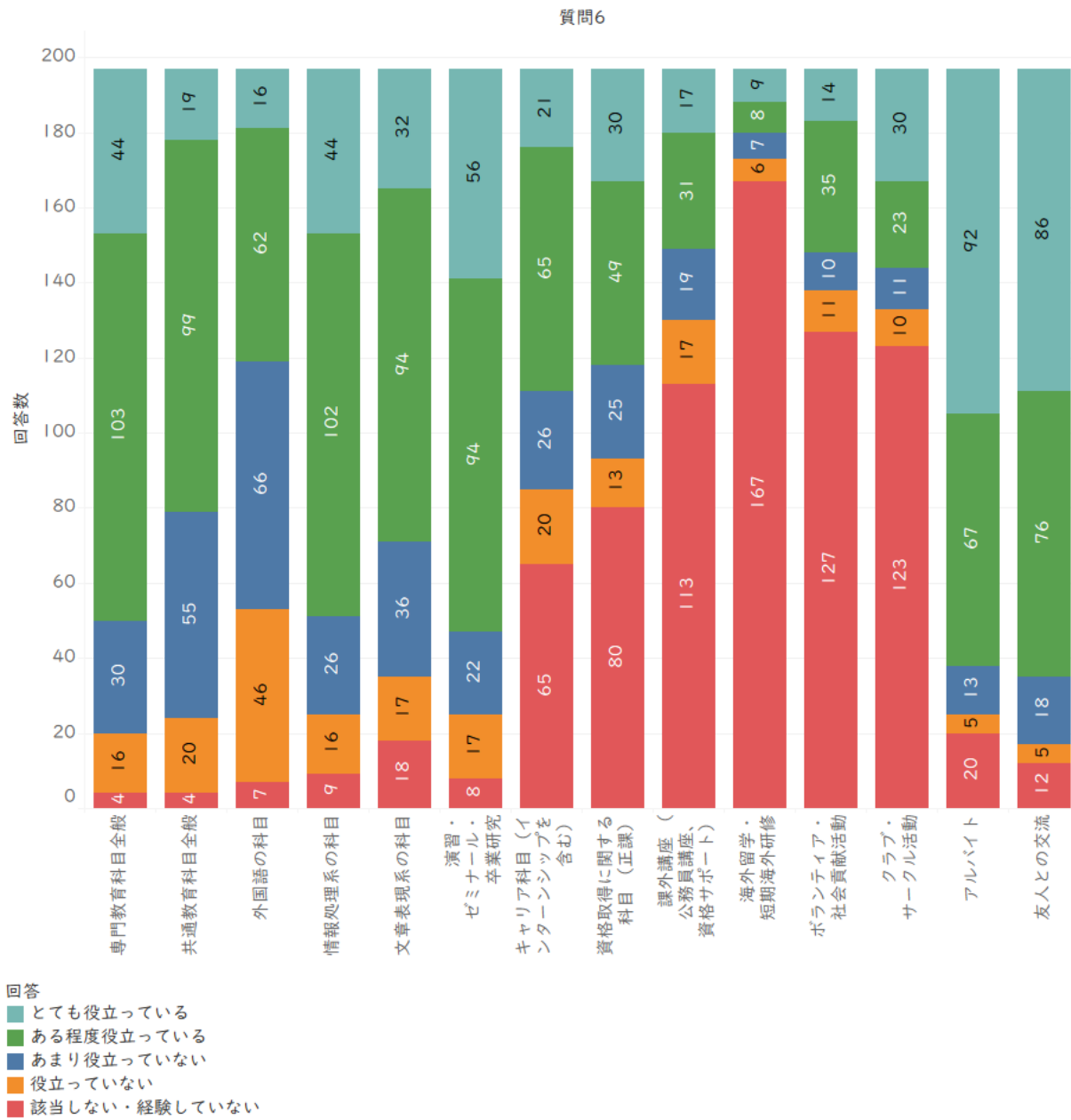
質問4. 性別についてお答えください。

女性	94
男性	100
女性/男性では答えられない	1
答えない	2
総計	197

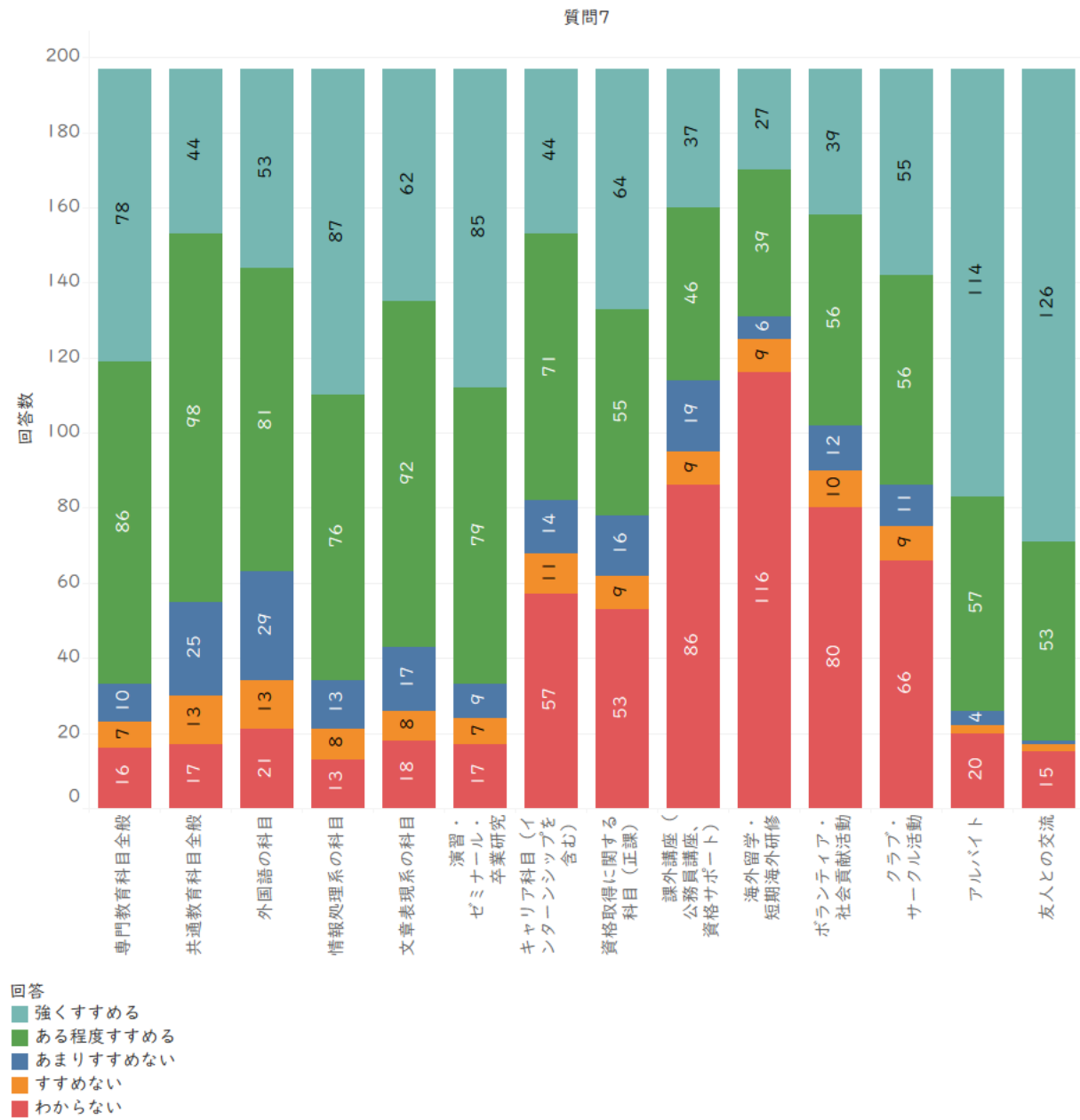
質問5. 大学時代の授業（実習・演習を含む）は全体として、現在どの程度役に立っていると思いますか。

	回答数	割合
とても役立っている	40	20.3%
ある程度役立っている	102	51.8%
あまり役立っていない	39	19.8%
役立っていない	16	8.1%
総計	197	100.0%

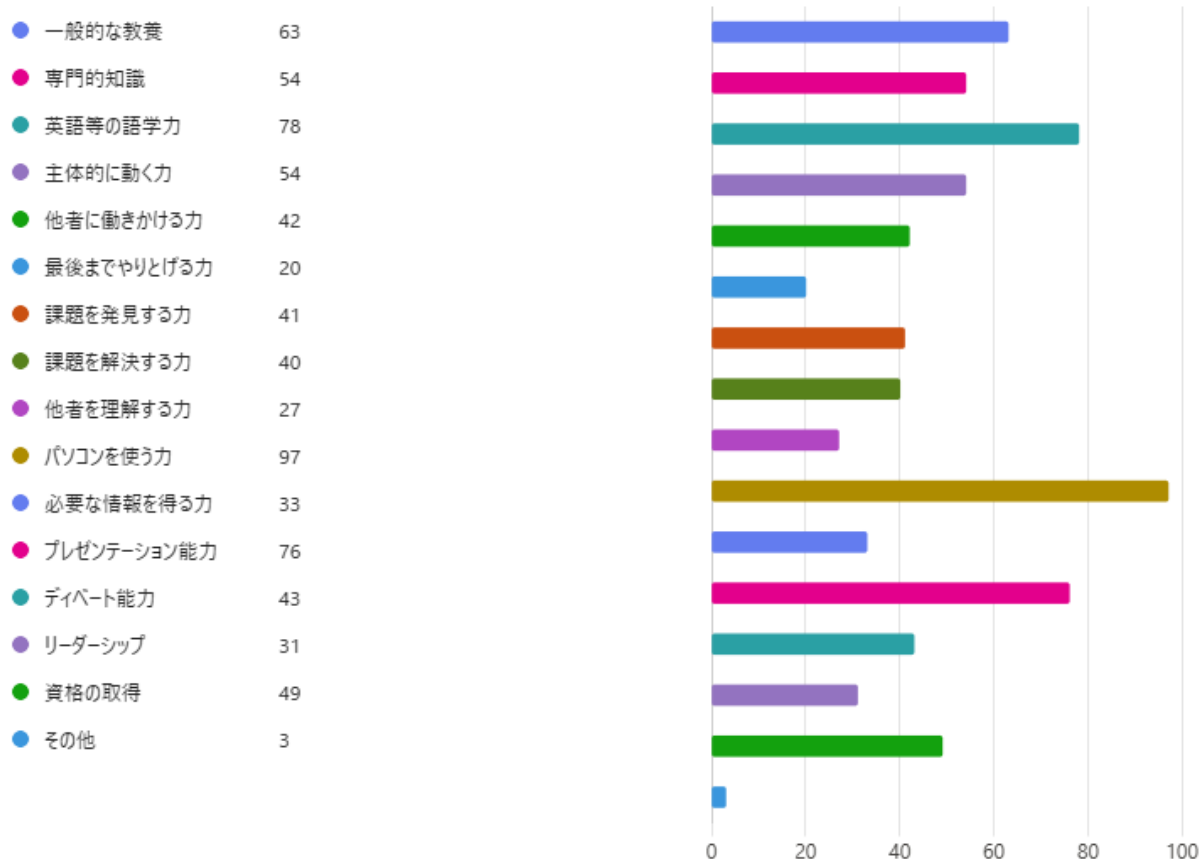
質問6. 大学時代に講義や実習・演習などの授業で学んだことや、授業以外での経験は、それぞれ現在どの程度役立っていると思いますか。該当するものを選択してください。



質問7. また、後輩に対して、大学時代に経験しておくように進めたいことは何ですか。それぞれ該当するものを選択してください。



質問8. 在学中にもっと高めておけばよかったと思う力や、身に着けておきたかった力について、あてはまる項目をすべて選択してください。



質問9. 「資格の取得」選択時は、こちらに具体的な内容を入力してください。

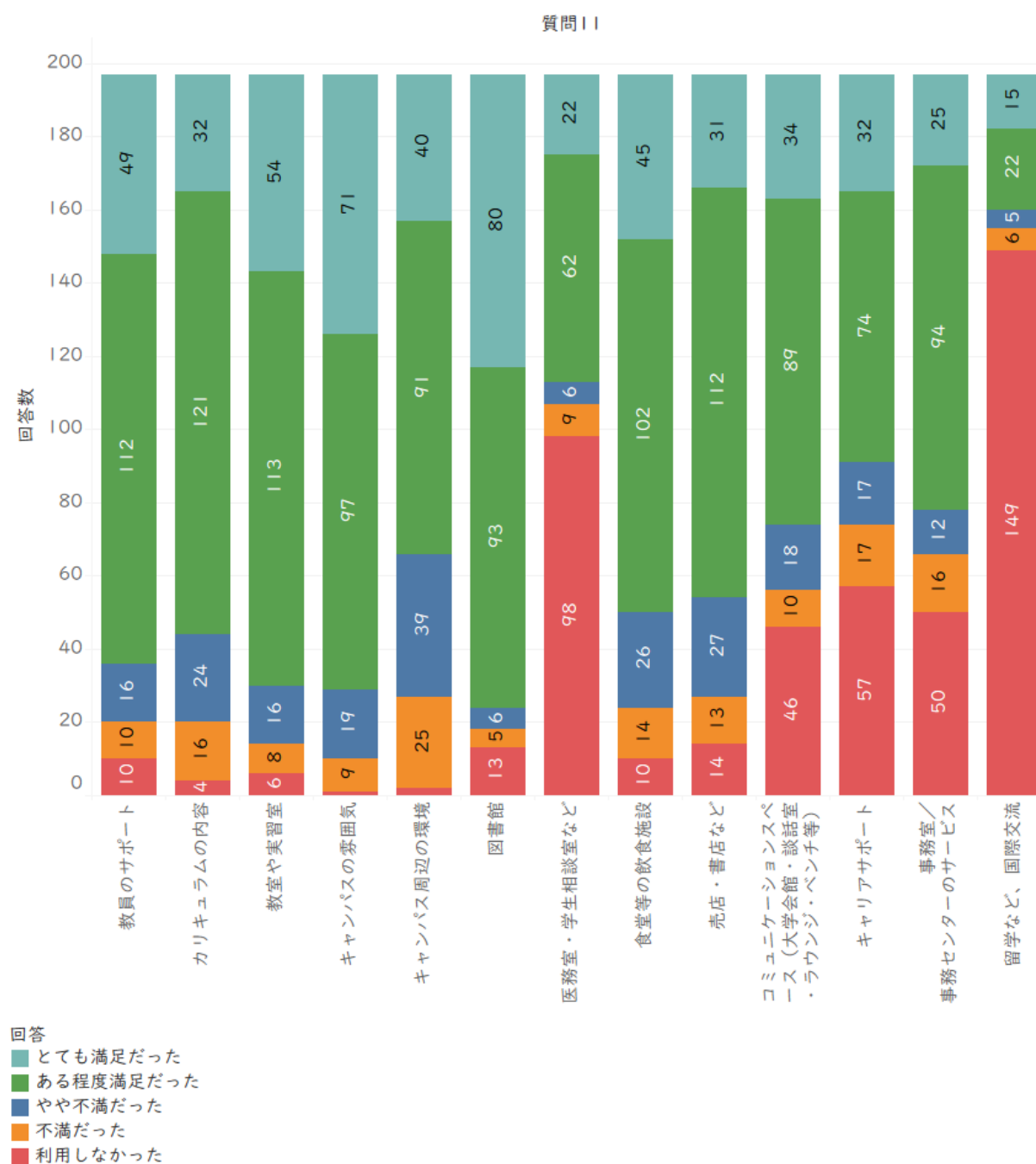


※Microsoft 365 Forms の「応答を表示」の標準分析機能にて作成。自由記述は原文ママを利用。(n=41)

質問10. 「その他」選択時は、こちらに具体的な内容を入力してください。

特になし
自分の特性を良く知り環境に馴染むための力

質問 11. 在学中の以下のことに対する大学の満足度について、それぞれ該当するものを選択してください。



質問 12. 在学中の大学の満足度について、その他、具体的に記述することがあれば、こちらに入力してください。

→すべて大学への貴重なご意見として頂戴しました。ご記入ありがとうございました。

質問 13. あなたの大学生活は、どの程度充実していましたか。

	回答数	割合
とても充実していた	63	32.0%
ある程度充実していた	106	53.8%
あまり充実していなかった	18	9.1%
充実していなかった	10	5.1%
総計	197	100.0%

質問 14. ※よろしければ、その理由をこちらに入力してください。

17回答者 (23%) この質問にため回答しました。



※Microsoft 365 Forms の「応答を表示」の標準分析機能にて作成。自由記述は原文ママを利用。(n=73)

質問 15. 卒業後の生活についてお伺いします。いま、あなたの生活は、どの程度充実していますか。

	回答数	割合
とても充実している	90	45.7%
ある程度充実している	88	44.7%
あまり充実していない	12	6.1%
充実していない	7	3.6%
総計	197	100.0%

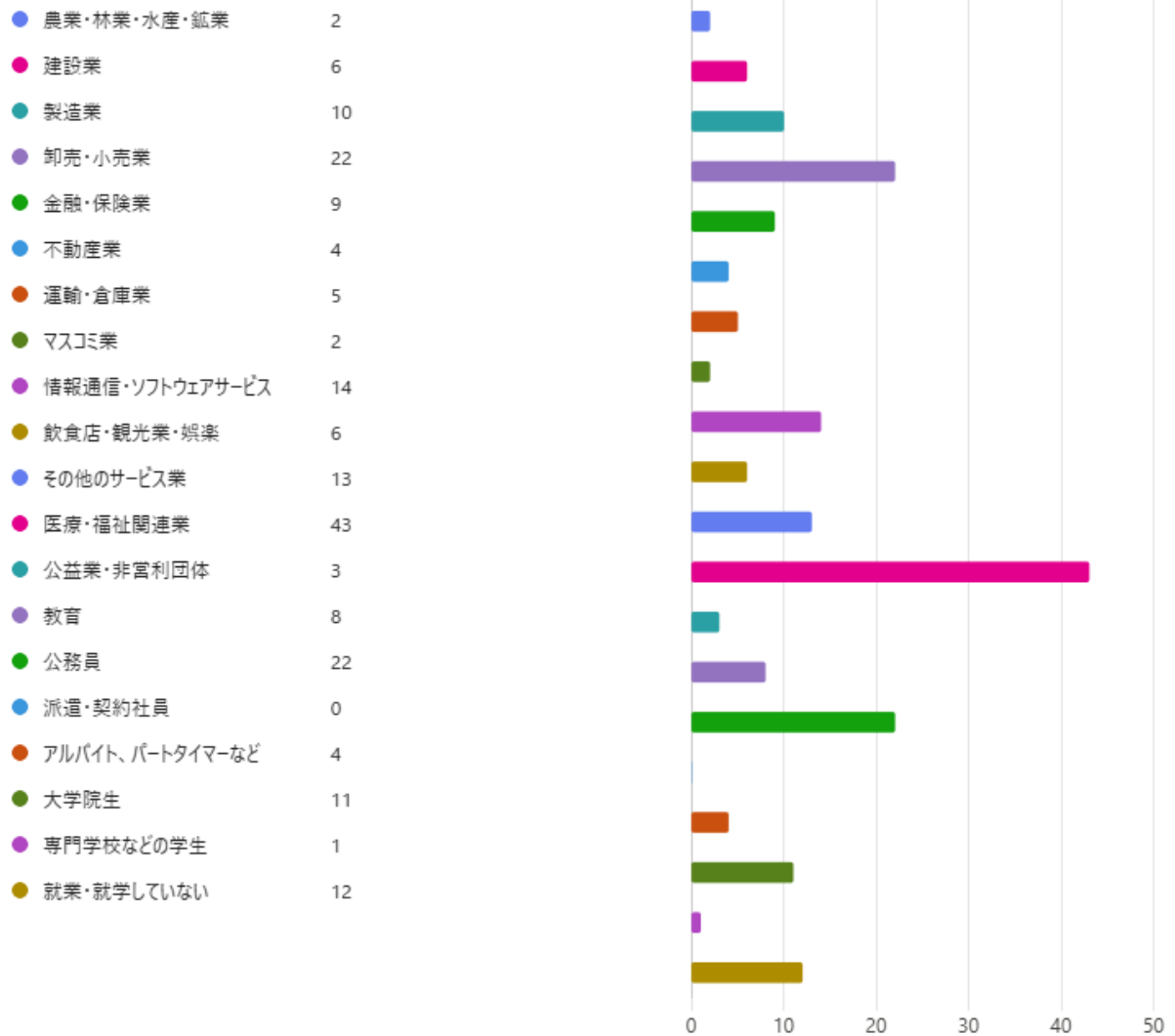
質問 16. ※よろしければ、その理由を教えてください。

11回答者 (18%) この質問に 大学回答しました。

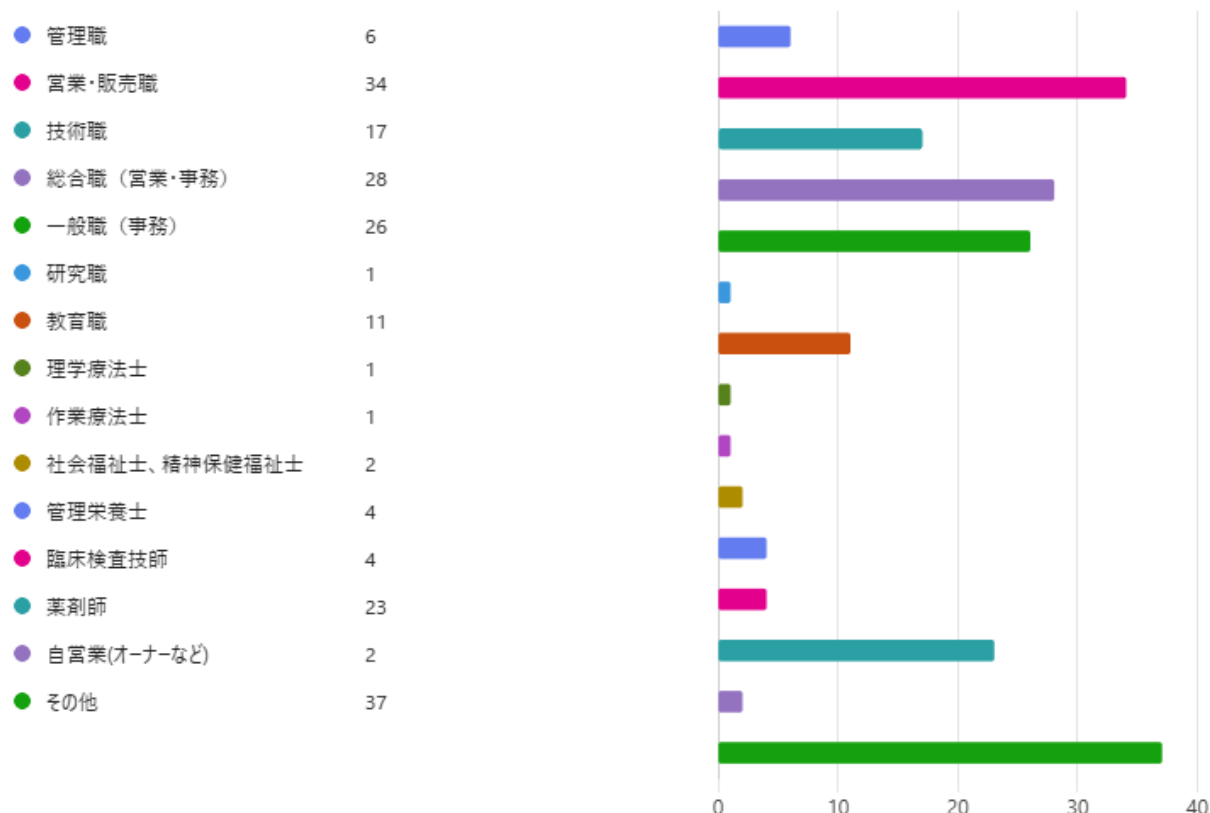


※Microsoft 365 Forms の「応答を表示」の標準分析機能にて作成。自由記述は原文ママを利用。(n=62)

質問 17. あなたの現在の勤務先の業種は次の中のどれにあてはまりますか。該当するものを選択してください。



質問 18. あなたの現在の勤務先の職種は次の中のどれにあてはまりますか。該当するものを選択してください。



質問 19. 「その他」選択時は、こちらに具体的な内容を入力してください。

→個別具体的な内容を含むため掲載していません。ご記入ありがとうございました。

質問 20. 最後に、卒業生として、今後の神戸学院大学に期待すること、ご意見・ご要望などがあれば、お聞かせください。また、大学への通信欄としてもご自由にご記入ください。ゼミの先生へのメッセージでもかまいません。

→すべて大学への貴重なご意見として頂戴しました。

また「先生へのメッセージ」は、在籍する教員については直接お届けしました。

最後までご記入いただきありがとうございました。

※質問 1. は集計作業のための項目でないため、質問 21. は任意でお名前をお伺いしているため、本報告書では割愛しております。

※質問 2. の選択肢について、アンケートフォームの不具合から、「栄養学部 臨床検査学専攻（生命栄養学専攻含む）」が「栄養学部 生命栄養学専攻」と表示されておりました。ご回答いただいた皆様方にお詫び申し上げます。なお、対象となる回答は全件「栄養学部 臨床検査学専攻（生命栄養学専攻含む）」として集計しております。悪しからずご容赦ください。



2023年度 卒業生進路状況一覧

2024年3月31日現在

		卒業生数 (前期卒業を含む)	就職(内訳)					進学			就職・進学以外					把握率 (%)	就職率 (%)			
			① 正社員	② フルタイム勤務	③ 短時間勤務	④ 1ヶ月以上1年未満	⑤ 1ヶ月未満	⑥ 大学院	⑦ その他の進学	⑧ 留学	⑨ アルバイト	⑩ 家事従事	⑪ 卒業後公務員・国試受験	⑫ 就職しない	⑬ 就職活動中で内定がない			⑭ 進路未登録	⑮ その他	
法学部	法律学科	男	310	252	1	0	0	0	6	4	0	5	0	6	2	18	7	9	97.7%	93.4%
		女	112	85	1	0	1	0	6	2	0	1	0	5	2	2	4	3	96.4%	97.7%
		計	422	337	2	0	1	0	12	6	0	6	0	11	4	20	11	12	97.4%	94.4%
経済学部	経済学科	男	240	204	2	0	1	0	2	0	3	2	0	2	2	9	2	11	99.2%	95.8%
		女	53	47	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	100.0%	98.0%
		計	293	251	4	0	1	0	2	1	3	3	0	2	2	10	2	12	99.3%	96.2%
経営学部	経営学科	男	230	195	0	0	1	0	1	5	2	1	0	4	5	6	5	5	97.8%	97.0%
		女	99	89	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	2	2	1	0	99.0%	97.8%
		計	329	284	0	0	1	0	3	5	2	3	1	4	7	8	6	5	98.2%	97.3%
人文学部	人文学科	男	179	147	1	0	6	0	5	1	0	2	0	0	5	6	1	5	99.4%	96.1%
		女	110	99	1	0	1	0	1	0	0	3	0	1	0	3	0	1	100.0%	97.1%
		計	289	246	2	0	7	0	6	1	0	5	0	1	5	9	1	6	99.7%	96.5%
心理学部	心理学科	男	57	41	1	0	0	0	4	4	0	0	0	1	1	2	2	1	96.5%	95.5%
		女	82	62	0	0	0	0	10	1	0	1	0	0	3	1	1	3	98.8%	98.4%
		計	139	103	1	0	0	0	14	5	0	1	0	1	4	3	3	4	97.8%	97.2%
現代社会学部	現代社会学科	男	69	59	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	2	2	2	0	97.1%	96.7%
		女	53	47	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	100.0%	100.0%
		計	122	106	3	0	0	0	2	1	1	2	0	0	3	2	2	0	98.4%	98.2%
	社会防災学科	男	75	61	0	0	0	0	2	0	1	0	0	5	5	0	0	1	100.0%	100.0%
		女	16	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	100.0%	100.0%
	計	91	76	0	0	0	0	2	0	1	0	0	6	5	0	0	1	1	100.0%	100.0%
学部計	213	182	3	0	0	0	4	1	2	2	0	6	8	2	2	1	1	99.1%	98.9%	
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	男	51	39	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	4	2	0	1	100.0%	95.1%
		女	105	88	1	0	0	0	6	1	1	1	0	0	3	1	2	1	98.1%	98.9%
		計	156	127	1	0	0	0	7	2	4	1	0	0	7	3	2	2	98.7%	97.7%
総合リハビリテーション学部	理学療法学科	男	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
		女	13	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
		計	39	38	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
	作業療法学科	男	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
		女	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
	計	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
	社会リハビリテーション学科	男	47	39	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	1	1	97.9%	95.2%
女		33	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	97.0%	96.8%	
計	80	69	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	2	2	2	97.5%	95.9%	
学部計	144	132	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	2	2	2	98.6%	97.8%	
栄養学部	栄養学科 管理栄養学専攻	男	17	13	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	100.0%	87.5%
		女	65	55	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	100.0%	92.2%
		計	82	68	5	0	0	0	1	0	0	1	0	0	7	0	0	0	100.0%	91.3%
	栄養学科 臨床検査学専攻 生命栄養学専攻(9月卒)	男	25	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	3	0	0	100.0%	84.2%
		女	43	26	5	0	0	0	0	1	0	0	0	11	0	0	0	0	100.0%	100.0%
	計	68	40	7	0	0	0	0	1	0	0	0	17	0	3	0	0	0	100.0%	94.0%
学部計	150	108	12	0	0	0	1	1	0	1	0	17	0	10	0	0	0	100.0%	92.3%	
薬学部	薬学科	男	70	58	2	0	0	0	2	0	0	0	0	5	3	0	0	0	100.0%	100.0%
		女	140	126	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	0	0	3	100.0%	100.0%
		計	210	184	4	0	0	0	2	0	0	0	0	11	6	0	0	3	100.0%	100.0%
全学部	全学科	男	1,401	1,153	11	0	8	0	27	16	10	10	0	29	31	52	20	34	98.6%	95.7%
		女	944	801	20	0	2	0	25	6	1	12	1	24	14	16	9	13	99.0%	98.1%
		計	2,345	1,954	31	0	10	0	52	22	11	22	1	53	45	68	29	47	98.8%	96.7%

※1：就職(内訳)欄の「フルタイム」は契約社員(嘱託含む)、派遣社員、レジデントの場合で「1年以上かつ週30-40時間程度」、「短時間勤務」は「1年以上かつ週30時間未満」。  
 ※2：進学欄の「その他の進学」は、大学、専門学校、職業訓練校、研究研修生等。  
 ※3：就職・進学以外欄の『その他』は、進学準備中、内定があるが就職活動中、今後就職活動予定等。  
 ※4：就職率(%)は、(①~③) / (①~③+⑬)、就職者には自営業を含む。

2023年度 修了者進路状況一覧

2024年3月31日現在

		修了者数 (前期修了含む)	就職(内訳)					進学			就職・進学以外					把握率(%)	就職率(%)		
			① 正社員	② フルタイム	③ 短時間勤務	④ 1ヶ月以上1年未満	⑤ 1ヶ月未満	⑥ 大学院	⑦ その他の進学	⑧ 留学	⑨ アルバイト	⑩ 家事従事	⑪ 卒業後公務員・国試受験	⑫ 就職しない	⑬ 就職活動中で内定がない			⑭ 進路未登録	⑮ その他
修士	法学研究科	法学専攻	男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
			女	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	50.0%	100.0%
			計	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	80.0%	100.0%
		国際関係法学専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
			女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
			計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
	研究科計			5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	80.0%	100.0%	
	経済学研究科	経済学専攻	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	100.0%	-
			女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
			計	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	100.0%	100.0%
		経営学専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
			女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
			計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
	研究科計			2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	100.0%	100.0%	
	人間文化学研究科	人間行動論専攻	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	100.0%	0.0%
			女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
			計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	100.0%	0.0%
		地域文化論専攻	男	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	100.0%	50.0%
			女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
			計	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	100.0%	66.7%
研究科計			4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	100.0%	50.0%		
心理学研究科	心理学専攻	男	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
		女	10	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	100.0%	90.0%	
		計	15	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	100.0%	93.3%	
総合リハビリテーション研究科	医療リハビリテーション学専攻	男	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
		計	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
	社会リハビリテーション学専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
		女	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	50.0%	100.0%	
		計	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	50.0%	100.0%	
研究科計			5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	80.0%	100.0%		
栄養学研究科	栄養学専攻	男	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
		女	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
		計	5	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
修士計			36	27	2	0	0	1	0	0	0	1	3	2	0	94.4%	90.6%		
博士後期	法学研究科	法学専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
	経済学研究科	経済学専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
	人間文化学研究科	人間行動論専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
		地域文化論専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
	研究科計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
	心理学研究科	心理学専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
			計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
総合リハビリテーション研究科	医療リハビリテーション学専攻	男	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%		
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
		計	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
食品薬品総合科学専攻	食品薬品総合科学専攻	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
博士後期計			3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%		
薬学研究科	薬学専攻	男	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
		計	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	
博士計			2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%		
修士・博士後期・博士計			41	30	4	0	0	1	0	0	1	3	2	0	0	95.1%	91.9%		

※1:就職(内訳)欄の「フルタイム」は契約社員(嘱託含む)、派遣社員、レジデントの場合で「1年以上かつ週30-40時間程度」、「短時間勤務」は「1年以上かつ週30時間未満」。

※2:進学欄の「その他の進学」は、大学、専門学校、職業訓練校、研究研修生等。

※3:就職・進学以外欄の「その他」は、進学準備中、国試受験準備中、内定があるが就職活動中、今後就職活動予定等。

※4:就職率(%)は、(①~③)/(①~③+⑬)、就職者には自営業を含む。

大学全体レベル カリキュラム・アセスメント・チェックリスト

2025年3月27日作成 第4版

全学のディプロマ・ポリシー（DP）（能力・資質のリスト）									
DP1：（知識・技能）共通教育等を通じて、広い教養を身につけ、豊かな人間性や社会性を涵養している。									
DP2：（知識・技能）専門分野に高い関心を持ち、専門領域の課題を考察し、解決するための知識や技能を身につけている。									
DP3：（思考力・判断力・表現力等の能力）幅広い知識を活用してさまざまな問題を発見し、それを解決する方策を導くことができる。									
DP4：（思考力・判断力・表現力等の能力）自分の意見を口頭や文書によって表現し、相手の意見を理解することで、良好なコミュニケーションをとることができる。									
DP5：（主体性を持って多様な人々と共同して学ぶ態度）獲得した知識や技能を活用し、国内外において、価値観や意見の異なるさまざまな人と議論し、学びを深め、協働して、社会に役立てることができる。									

番号	名称	実施時期	実施頻度	対象	評価項目（対応DP）	評価手法	評価者	実施責任者	結果の活用方法
1	新入生アンケート一部設問 （実施者：学長室）	4月～5月	毎年	新入生	DP1～5	WEBアンケート集計結果	全学教育推進機構	全学教育推進機構長	学生の入学時の学習意欲等の測定を経年比較し、入学生群の変化がないかを確認する。
2	新入生基礎学力診断（英語） （実施者：教務センター）	4月	毎年	新入生	DP1	WEBテスト集計結果	全学教育推進機構	全学教育推進機構長	学生の入学時の英語能力の測定を経年比較し、入学生群の変化がないかを確認する。
3	在学生の学修行動調査 （実施者：教学IR室）	5月～7月	毎年	在学生	DP1～5	WEBアンケート集計結果	全学教育推進機構	全学教育推進機構長	学生の在学中の学習意欲等の測定を経年比較し、どのように変化しているかを確認する。
4	卒業時の学修行動調査 （実施者：教学IR室）	9月、3月	毎年	卒業確定者	DP1～5	WEBアンケート集計結果	全学教育推進機構	全学教育推進機構長	学生の卒業時の学習意欲等の測定を経年比較し、入学時からの変化を確認する。
5	就職・進学状況 （実施者：キャリアセンター）	翌年6月	毎年	卒業生	DP1～5	WEBアンケート集計結果	全学教育推進機構	全学教育推進機構長	卒業生の就職・進学状況を把握することで、卒業生の学修成果の一端を確認する。
6	卒業後アンケート （実施者：教学IR室）	翌年12月	毎年	卒業生	DP1～5	質問紙・WEBアンケート集計結果	全学教育推進機構	全学教育推進機構長	卒業生の卒業後の状況を把握することで、卒業生の学修成果の一端を確認する。
7	全学実施の外部アセスメントテスト （実施者：キャリア教育センター）	1年次：5月 3年次：前期開始前	毎年	在学生	DP5	WEBテスト集計結果	全学教育推進機構	全学教育推進機構長	学生の在学中の社会人基礎力を測定し、学修成果の一端を確認する。